

# 平成23年度 府民サービス向上成果発表会

所属	事例名	概要	
1 企画総務部 丹後保健所 【丹後広域振興局】	行政と民間の垣根を越えた子育て支援プロジェクト ～チームで“やさしさあふれる丹後の子育て！”を実践～	子育て支援については、行政機関や民間団体等それぞれで取組を進めてきたが、「行政だけ」「民間だけ」では対応しきれない課題やニーズに直面していた。そこで、意識の高い民間団体へのアプローチに重点を置いた取組を進めることで、保健所等が持つ専門性に、民間ならではの柔らかなアイデアやフットワークの軽さ等を組み合わせることができるようになり、民間と行政がそれぞれのちからを発揮した子育て支援の仕組みづくりに向け歩み出した。	
2 企画総務部 【南丹広域振興局】	『南丹』ではダメなんです。『京都丹波』じゃなきゃ!』の実施 ～名付けてヤドカリ作戦～知ってますか?「京都丹波まゆまる隊」	「京都丹波」を積極的にPRするため、地元の若者中心のボランティア組織を5月に立ち上げ、主に国民文化祭の盛り上げ役として、「まゆまる」着用を行ったほか、自分たちだけでイベントを開催するのではなく、京阪神のイベントにも積極的に参加するなど参加方法も工夫。また、アンケートによる京都丹波についての調査を行い、その結果を事業に取り入れるなどの工夫を加えている。	
3 指導検査課 【建設交通部】	技術職員実務研修プログラムの実践 ～職員の“学び”広がる職場～	府民ニーズの多様化や新たな契約制度など社会経済情勢が変化する公共事業の現地・現場において、職員自らが学んだ知識や技術等を最大限に発揮できるように技術職員実務研修プログラムを策定・実践。階層別基礎研修を創設し、職場OJT研修、専門派遣研修などを体系化、関連付けし、職員間で双方向に“学ぶ”仕組みを作ることにより、職員が“学び”の必要性に気づき、各職場で学習活動が展開し始めている事例で、職員間コミュニケーションの円滑化にも寄与している。	
4 陶工高等技術専門学校 【商工労働観光部】	「思いついたことを、できることから、みんなで、どんどんやろう運動」の取組 ～特別なお金も人も要らずに、「ちょっとこうしたらいいのになあ」を楽しく実現するには～	「職場が良い雰囲気の中で、職員一人一人の意欲、能力が最大限発揮され、業務改善が進んでいく」をイメージし、校内で運動を展開。専門校や清水焼についてのPRビデオの自主制作や小学生向け陶芸体験教室の開催など既に38の職員アイデアの取組を実現。身近なことから職員の自発的な発想を活かしながら、管理職や一般職員、臨時職員、訓練生までもが一体的に課題に取り組むことで、職場全体に一体感が生まれ、身近な業務改善が進んだ。	
5 府民総合案内・相談センター 【府民生活部】	府民目線・対話型の情報提供システム「府民サービス・ナビ」の運営 ～どこにでも有りそうで、なぜか無かったサービス～	府民が「現に利用できるサービス」を「府政の全分野」にわたって検索できるシステムで、①行政HPは総合的だが情報が多すぎる、②サービス検索システムは総合的なのがない(縦割)、という現状を改善するものです。府立大学の協力を得て、①検索しやすい(「お困りごと」等で検索)、②申請漏れ防止にも一役(お知らせ機能)、③質問しやすい(各サービスに質問欄)ものとなるよう工夫、府民からの反応は「役所に聞く時間がないので助かる」などと好評です。	
6 企画総務部 【山城広域振興局】	山城のNPOの寄せ鍋フェスタ ～挑戦! 出会いと絆 結べ!! 住民と地域活動～	NPOについて府民アンケートを実施したところ、府民から「NPOという言葉は知っているが、身近にどんなNPOがあるか知らない」という声が多数を占めた。NPOパートナーシップセンターでは団体間交流に力を入れてきたが、地域に出かけていって、それぞれの地域事情に応じた事業展開に切り替えるとともに、NPOの活動を知ってもらうため、観光客の多い府立宇治公園で山城南部への誘客を目的に「ええもん発見市」を開催してきた。今回は新たに地域住民に山城を知っていただく取組として「やましる地域交流フェスティバル」を開催。学研都市の木津川市で実施し、若い世代を中心に多くの子どもが参加	
7 畜産課 【農林水産部】	みんなが「Smile」飼料用米研究会 ～飼料用米が紡ぐ食卓と農業の絆～	飼料用米は、「米で転作」ができ、不作付け水田が解消できることから、米農家は供給先を求め、畜産農家は安く安定的な供給元を求めていたが、双方に面識がなかった。そこで、消費者も含めて意見交換できる研究会を設立し、消費者が農作業を手伝い、生産された卵1個につき1円を上乗せ販売して生産者の応援金とすることで、生産者、流通事業者、消費者3者の思いやりの心と連携が生まれた。	
8 農林商工部 【中丹広域振興局】	農家民宿開業手続きの「ワンストップ相談」の取組あなたもできる「農家民宿」! ～計画から開業までの手続きを継続サポート～	過疎高齢化が進む農村地域の活性化を図るため、農家民宿を推進しているが、農家の方は、複数の役所に手続きが必要なため「煩雑」、「敷居が高い」という気持ちが強く、農家民宿開業の気運が盛り上がりなかった。そこで振興局が説明会を実施するとともに「ワンストップ相談窓口」を開設し、各種手続き書類の事前相談を行うことにより、開業手続きがスムーズに行えるようになり、農家民宿の開業件数が増えた。	
<b>事例報告: 和東町職員自主研究会の取組 他の応募事例の紹介</b>			
<b>表彰(最優秀賞 1チーム 優秀賞 2チーム)</b>			
最優秀賞: チーム ちくさん(飼料用米が紡ぐ食卓と農業の絆) 畜産課【農林水産部】			
優秀賞: 陶校どんどんやろうチーム(特別なお金も人も要らずに、「ちょっとこうしたらいいのになあ」を楽しく実現するには) 陶工高等技術専門学校【商工労働観光部】			
優秀賞: スキルアップ向上ワーキング(どこにでも有りそうで、なぜか無かったサービス) チーム・ナビ【府民労働部】			